

活動名：さいとう医院杯フットサルU12大会「FCアーレBチーム」

日 程：令和8年2月8日（日）

会 場：小野町町営体育館

参 加：L100クラス 8名

帯 同：設楽・大森コーチ

結 果：予選リーグ

VS ひらた FC 2 : 1 ○

VS 安積第三 SSS 3 : 0 ○ リーグ1位通過

準決勝

VS 富田東 SSS B 2 : 0 ○

決勝

VS 富田東 SSS A 2 : 3 ●

FCアーレB

準優勝／12チーム中

報 告：設楽

＜大会参加の背景・目的＞

● 本大会への参加経緯

毎年この時期に小野FC様よりご招待をいただき、参加させていただいている大会です。

今大会は2チーム参加の枠をいただき、6年生を中心とした編成で出場しました。

● 今大会の位置付け

- 日々の練習の成果を実戦で確認する経験の場
- 大会である以上、勝敗にもこだわる公式戦
- 来週開催される「喜多方6年生大会」につなげるための重要な経験の場

● メンバー選考基準

- L100クラスに在籍する5・6年生
- リフティング上位順より8名を選出

＜事前準備・大会に向けた考え方＞

● 大会全体のレベル・特徴

- 小野FC様と親睦のある、県中地区の強豪チームが集まるレベルの高い大会

● 事前に意識したポイント

- ・ インフルエンザが流行する時期であり、2チーム参加のため、最低限試合が成立する人数（5～6名）を確保できるかが懸念点であった

● コーチングで重視した点

- ・ キックイン・コーナーキックにおける戦術的な決め事の実践
- ・ GKのクリアランス時における投げる場所の駆け引き
- ・ 相手にひるむことなく、果敢にプレーする姿勢
- ・ 出場した全員が得点を狙う意識を持つこと
- ・ 6年生は最後の大会であるため、中心メンバーとしてチームを構成
- ・ 来週の喜多方大会では、今大会以上の強度が想定されるため、自分たちの技術を信じてプレーすれば結果はついてくる、という意識付け

<予選リーグの振り返り>

● 予選リーグ結果

【2勝0敗／1位通過】

● 初戦の位置付け・狙い

大会において初戦は最も難しく、ここを勝ち切れるかどうかが大会全体の流れを左右します。

初戦のひらたFC様との試合では、先制点を許しながらも逆転することができ、非常に大きな自信につながりました。

また、キーパーを自ら引き受けてくれた2名の5年生がいたことで、メンバー構成をスムーズに決めることができました。

2戦目は強豪のブレイブ守山様との対戦でしたが、相手が5年生主体のチームだったこともあり、フィジカル面で優位に立ち、当たり負けすることなく果敢に攻めることができました。

6年生を中心とした選抜メンバー構成のため、5年生5名は長時間の出場とはなりませんでしたが、途中出場でもそれぞれが自分の役割を理解し、しっかりと果たしてくれました。

<順位決定戦の振り返り>

● 準決勝

富田東SSS B様との対戦では、予選リーグ同様、落ち着いた試合運びができ、危なげなく勝利し決勝へ進出することができました。

● 決勝戦

決勝は富田東 SSS A 様との対戦でした。相手はインフルエンザの影響で主力選手が数名欠けており、1~4 年生が助っ人として出場する編成でしたが、試合前から油断することなく臨みました。

相手 GK は身長が高く、正規のゴールキーパーであったため、通常のシュートではなかなか得点を奪えず、攻め続ける中でカウンターを受け、前半に 2 失点てしまいました。

後半は守備的になるのではなく、全員で攻める布陣に切り替えたことで得点を奪うことができましたが、再びカウンターから失点。

それでも選手たちは諦めることなく攻め続け、2 点目を奪いました。内容的には終始アーレが主導権を握る試合でしたが、あと一歩及ばず惜敗となりました。

悔し涙を流す 5 年生の姿を見て、コーチとして勝たせてあげられなかったことや試合出場の短さなど申し訳なさを強く感じました。

ただ、この 8 名の 5・6 年生は全力を出し切ってくれましたし、相手の試合経験の豊富さによる時間の使い方（時間稼ぎのズルさ）なども含め、非常に学びの多い試合となりました。この敗戦は、来週の喜多方 6 年生大会に向けた大きな糧になると感じています。

<子供たちの様子・成長・今大会で感じた課題>

- 朝の段階では初戦に向けた気持ちの入り方に不安を感じたため、行動のスピードや準備の意識を求めました
- 試合を重ねるごとに、陽斗キャプテンを中心に、選手同士で優勝を意識した準備を行う姿勢が見られるようになりました
- 日々の練習の積み重ねにより、個々では十分に戦える力が身についているを感じました
- 一方で、フットサル特有の戦術的な連携を十分に練習していないため、組織的なチームには対応が厳しい場面もありましたが、今は個のチャレンジを大切にすることを指導していきたいと思います。
- 予想以上に逞しい戦いを見てくれ、信頼できるサッカー選手へと成長していることを感じました
- シュートのタイミングは良いものの、枠内に決め切る精度が課題であり、今後も継続して取り組んでいきたい点です
- ボールを奪いに行ける場面と消極的になる場面の差があり、より強い「奪う意識」を持つことを求めていきたいと感じました

<今後に向けて>

- L100 クラスのメンバーにとって、来週の喜多方 6 年生大会が公式戦最後となります

- 6年生は最後の公式戦となるため、今大会をステップに、強豪相手にも悔いの残らないプレーをしてほしいと思います

● 子供たちへのメッセージ

これまで積み重ねてきた努力を信じ、仲間とともに最後まで全力で戦い抜いてほしいと思います。

<感謝>

朝早くからの送迎や、会場での温かく力強い応援をいただきました保護者の皆様に、心より御礼申し上げます。コーチが足りないことからタイムキーパーなどのご協力にも感謝いたします。そして、本大会を主催していただいた小野FC様、協賛企業のさいとう医院様、対戦していただいた各チームの皆様に感謝を申し上げます。

報告者：設楽コーチ



